

ご意見

内 容
安全を第一に考えて今後のウラン試験、アクティブ試験を確実に実施してほしい。そして、万全を期して本格操業へと進めてほしい。
一連の不具合（プール等）に対し、発覚してからは、真正面から受け止め、反省すべき所は反省し、改善してきたご努力に対しては、敬意を表します。 二度とくり返さないためには、国民一人ひとりが現在の日本の電力事情をしっかりと踏まえた上での議論が必要と思うのですが、この点につきましては、いささか説明不足のように感じました。 現実を見つめ、しかる後に、より良い未来像を模索していかねばならぬと感じました。
トラブルがおきたときの情報の公表は勿論、大切なことですが、それ以前に、いかなるトラブルにも、即座に対応できる技術の向上を、おこたることなく、職員の一人一人に希望いたします。 一般の国民は、トラブルが起きてしまえば、なすすべはないのですから。
驚くべき科学の進歩を改めて知らされ、唖然としています。いかに科学が進歩しても、結局は人間の手にたよるしかないのかなあとも思います。ご説明を受けて、その巨大な仕組みに、かえって不安を募らせる部分もありますが、こと、ここに至っては、この事業に取り組んでいるお一人お一人に任せるしかないような気にもなっています。願わくば、いつの時も、心身共に健康で、我が国の電力事業に当たって欲しいと希望いたしますしかたないですね。
プレスのトラブル情報（放射線影響のある場合）を出す場合は、客観的な判断ができるようなわかりやすい資料とあわせて出してもらいたい。（記者によって種々の書き方となるため）
司会者より、質問は説明の内容に限ってするようにとのことであったが、一般の人がその場で質問できるには、予備知識がある程度必要であると思う。従って、この機会に日本原燃に直接きいてみたい点についても質問を出させるように配慮すべきであると思う。その他はそうした位置づけであると理解したい。
安全を最優先にして試験を実施していただきたい。
ウラン試験の日程を優先することなく、安全を最優先に確実な試験を実施されますように。また、トラブルは早く発表するようにお願いします。
この度の説明会は、大変分かり易くご説明いただきましてありがとうございました。安全面で防災管理の件では、疑問が解けました。今日は、本当にありがとうございました。貴社のご発展と科学の進歩のためにも、社長様始め職員の皆様のご健康に充分お気をつけて、青森県の発展に寄与できるよう願うものです。
末永教授に意見です。今回のような企業の説明会で司会をされると、賛成反対の渦に巻き込まれることがありますが、冒頭の司会ぶりを拝見し感激しました。後半の質疑応答の御司会もがんばってください。
今年4月の品質保証の説明会にも出席した者です。その際の説明として「トップマネジメントの強化」があり、社長の関与について言っていたと思いますが、その説明会では社長が出席していなかったと記憶しています。今回の説明会では、新社長が出席され、まさにトップマネジメントの実践をしていると感じます。また、社長の出席というのは原燃としても相当の決断だったと思います。今後も県民の声にしっかりと耳をかたむけ、着実に安全に事業を進めてほしいです。
本日の説明を聞いて、ウラン試験の内容についてよく理解できた。しかし、本日の説明会に参加できたのは、ごく一部の県民のみであります。いろいろなメディアを利用し、本日の内容を広く県民に周知できるようにお願いをします。

## ご意見

内 容
最近、日本原燃、国、県等で、頻繁にこの様な説明会が開催されているが、事業者はプロとして自信を持って事業を進めてほしい。この様に説明会が頻繁にあると我々一般人はかえって心配になる。
いくら安全対策を施しても扱う人間がヒューマンエラーを起こしては何もなりません。確かにインターロック等ありますが、業務に多大な責務を負っている訳ですから、社員は仕事に認識をもって取り組んでほしい。
私たち素人が考え得る対応策等については全て万全だと感じ安心した。今後も様々なトラブル（予想されるもの、予想されないもの）があると思うが、全てのトラブルに対し、確実な対応を図っていただきたい。日本のエネルギー事情を踏まえた場合、再処理、サイクルは必要である。操業が遅れる（例えばですが）ようなことがあっても確実な対応をお願いします。
近頃「ウラン試験を急ぐべきではない」とか「立ち止まって考えるべき」等、具体的な代替案が示されないまま、無責任な反対論が垂れ流しになっている状況を首をかしげながら見ている。決して100%安全だと思っている訳ではないが、リスクとベネフィットを比較すると、再処理は現時点で優位に立つ選択肢だと考える。ウラン試験を急いでいる訳ではなく、あくまでも手続きの流れのひとつであり、着実に事業を進めることをしっかりと説明すべきではないか。
試験進捗に合わせ、あらゆるトラブルを想定し、万全な体制で臨んでいただきたい。
広報の活動が大変なことがよくわかりました。一部の反原子力の人にまどわされることの無いよう祈ります。揚げ足取りの質問には答えることもないと思います。心の入った施設、運営（運転）をお願い致します。地元企業として成功を祈ります。
トラブル等の情報は、なるべく早く公表できるような組織づくりをお願いします。
些細なことでも、報告する体制は許可できるが、報告そのものが形骸化しないような体制作りにも努めてもらいたい。
機械は人間が操作することによって、ミスが発生する。労働災害を含め、個人、周囲、部署において、確実な安全確保が徹底されるような職場になってもらいたい。
少々厳しいことを言うが、説明者の青柳さんは、言葉の遣い方が難しいのではないかと。「建屋」とか「漏えい」とか。説明とは資料を更に分かりやすく、理解しやすい言葉で解説することではないか。せっかく広報部長がきているのだから、広報の部長が分かりやすく説明して欲しかった。
資源を大事にするなら、配布資料は両面で印刷するべきだと思う。
私は、ウラン再処理操業開始予定の六ヶ所工場から110km程離れている県南在住で、原燃事業には、新聞、テレビなどで、目にするだけ。エネルギー資源に乏しい我が国は、その80%以上を海外からの輸入に頼っていることの重大さには、残念ながら地区ほとんどの人が無関心と言っても過言ではないと思っています。 無知の状況の中で、工場のトラブル事例130件、または、被ばくが心配。最近では再処理コストの試算隠し...と言われていたことなど。とてもウランを用いた試験どころではない。初歩的問題と思いますが、長年の国策でもあり、県、原燃は、県民の安心を得るためには、的確な情報公開で、まず原燃に関心を持ってもらうことが不可欠ではないでしょうか。報道で拝見する限り不安要素が多い気がする。そのための説明会と思いますが、私は現状が前後しているようで、サイクル事業推進ありき...に感じられるのが心配。
再処理工場を安全に運転できるように、しっかり試験を進めて行ってほしいです。

ご意見

内 容
ウラン試験の必要性がわかった。安全に十分注意して進めて欲しい。
全般的な事で記します。 必要なウラン試験が円滑に行われることを望みます。事故は予測できないものですが、トラブル等の事例、対応をお聞きしたので、信頼を以て見守ります。エネルギーの自給率を上げるためにも、是非このステップを無事終えることを祈ります。
核燃料（使用済）の処理、また、エネルギーの確保の観点から、安全に十分留意して、速やかに事業の推進をして欲しいと思います。
事故、トラブルのないように、安全性に注意し、進めてほしい。
社員一致団結して、是非とも、安全第一優先で、この事業を成功してください。
軽微な機器故障も含み、小さなトラブルも透明性をもって、タイムリーに公開していくという原燃の姿勢に、潜在的には、危険性を持つ物質を取り扱うことを自覚し、施設の安全を確保しつつ、周辺の住民である私たちとの信頼関係を築いていこうとする誠実さが感じられた。
小さなトラブルでもすみやかに公表し、地元住民との信頼関係を築いてください。
小さなことでも、何かトラブルが発生した場合は、きちんと報告するという姿勢が、見受けられたと思います。 ただし、「何も起きない。起こさせない。」というのが、一番に大切なことでもあります。何事もなく試験がスムーズに進行することを望みます。
トラブル公表は、当たり前であるが、社員が努力していることも、公正に発表して欲しい。 (負の公表だけでは志気の低下につながる)